

第1回
EL CAMINO ART AWARD
入賞作品

【金賞】



NO.09

宙に咲く

酒井誠

東京藝術大学大学院博士後期課程
美術研究科美術専攻

宙を漂う星屑と、静かに咲く藤の記憶。

パネル、綿布、アクリル絵具、ラメ

1000×700mm

【銀賞】



NO.11

花龍笑む日

数宝朱音

大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科卒

特に満開だった八重黒龍の大きな特徴である「玉咲き」の立体感を盛り上げ胡粉で表現。同時に、琳派の伝統的な技法も取り入れ画面を構成した。

和紙、岩絵具、金泥、色鉛筆

910×727mm

【特別賞】



NO.03

霞から花へ

月星開理(伊藤沙由美)

女子美術大学大学院美術研究科修士課程
美術専攻工芸(ガラス)研究領域修了

頭の中でおぼろげに思い浮かんでいた藤の花のイメージが、藤の花を見たことではっきりとした形を持って思い出せるようになる。そのイメージが形を持ち始めた、ごく最初期の様子です。

雲肌麻紙、岩絵具

833×681mm

【入賞】



NO.01

百六十年の祈り

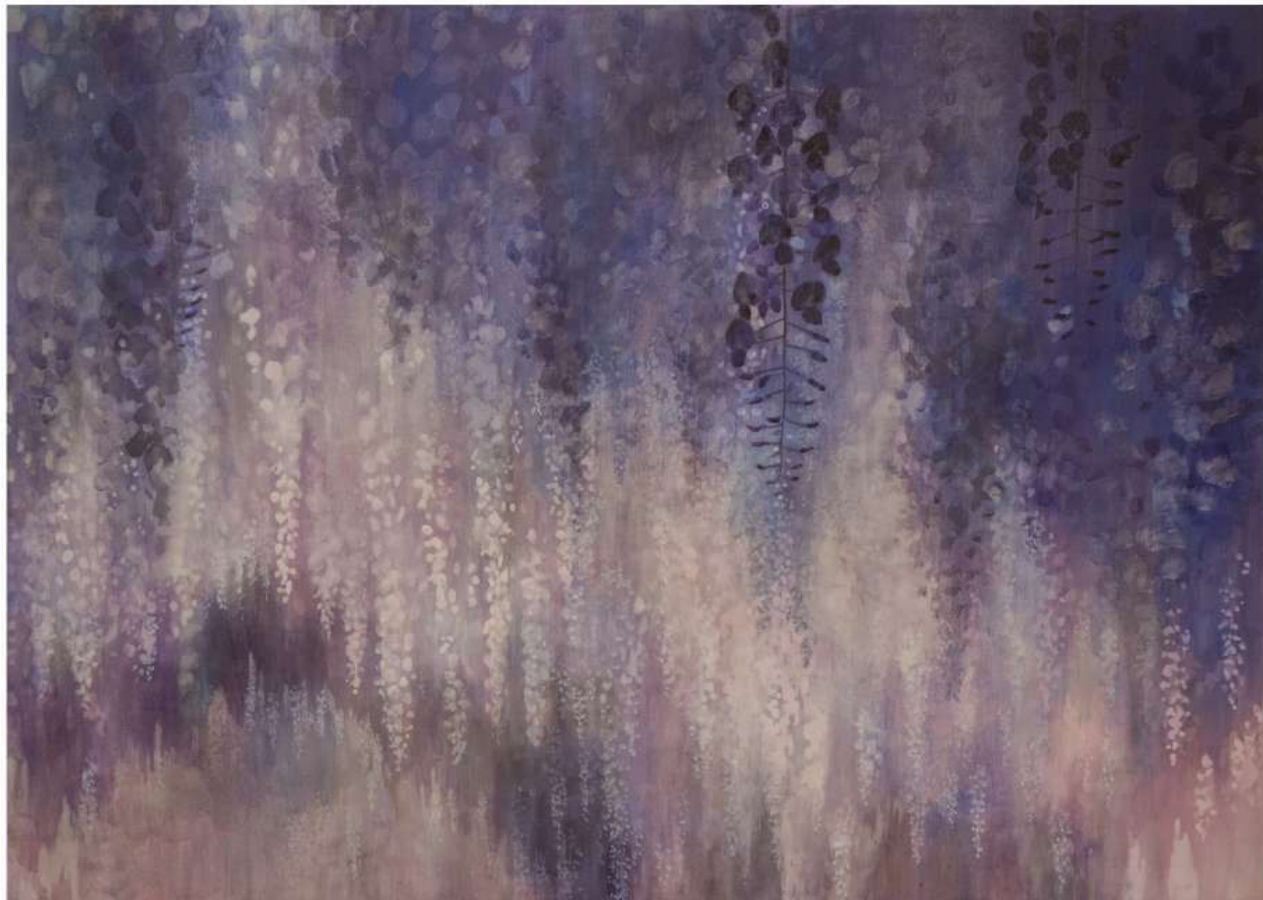
彩蘭弥(Alaya)

多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒

樹齡130年の巨木を約30年前に移植し、現在もなお咲き誇る大藤。そこには人々の並々ならぬ想いが込められてきました。その奇跡の物語と光降り注ぐ藤の佇まいに心打たれ、本作品を描きました。

和紙、岩絵具、金箔

730×910mm



NO.02

群衆

伊賀帆乃香

京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コース卒

大藤の中に入り、花で四方を囲まれたときに
受けた印象を表現しました。

胡粉、墨、岩絵具、顔料、メディウム、
アキーラ(水性絵具)

652×910mm



NO.04

花香り盛る

伊藤優花

金沢美術工芸大学大学院修士課程
絵画専攻油画コース修了

蠟を重ね、重厚感を出すことで
花々の重なり合う美しさを表現した。

パネル、漆喰、蠟、顔料

530×652mm

NO.05

そよそよ ふふふ

大久保迪子

多摩美術大学造形表現学部造形学科油画卒

春、少し暖かな風が心地よく、心を動かされる4月。頭上に広がる大藤のつる、それを支えるどっしりとした幹。風が運ぶ藤の香りと、見上げた藤の背景の薄青い空に心が洗われました。そのような日を感じられる作品にしたいと思いました。

キャンバス、アクリル絵具

652×910mm





NO.06

宇宙の花

岡本博紀

大阪芸術大学大学院芸術研究科
絵画領域修士課程修了

夜、光に照らされる白藤の花を描いた一枚です。

インク、漂白剤、グリッター、木製パネル

530×727mm



NO.07

五月の花

金森美紗輝

京都芸術大学通信教育部書画コース卒
京都芸術大学通信教育部
イラストレーションコース卒

美しくたおやかに咲く藤の花の雰囲気をも素直に表現したいと思って制作した。

高知麻紙、岩絵具、墨額

1000×1000mm

NO.08

BLOOM 26.5.15

菊地虹

東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻
美術教育研究分野修士課程修了

あしかがフラワーパークの藤の圧倒的なボリュームや迫力を表現するため、影を描き込んで浮いてみえる技法を用いて立体的に表現した。見る人たちが喜ぶ様子と、その時の明るい気持ちを色彩に託した。

キャンバス、アクリル絵具

727×910mm





NO.10

揺らぎ煌めく藤

桜井旭

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科
博士後期課程美術研究領域絵画分野修了

信じられないほど大きな藤と、無数の花々が風に揺らめく様は今までに経験したことがないほど美しく感動した。その感動を思い起こしながら表現した。

油彩、キャンバス

727×606mm



NO.12

なみ かおる

相馬麻由

女子美術大学芸術学部美術学科洋画専攻卒

人の手に育まれて満開となった藤波と香りに心を動かされ、描きました。

パネル、化学染料使用の自作絵具、
ジェッツ、グロスバーニッシュ

1000×803mm



NO.13

藤、夕刻

津田翔一

東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒

夕陽が藤の花々に触れかける。
紫は重なり、わずかに燃える。
花卉は残照にまつろう。

キャンバス、油彩

530×652mm



NO.14

花降る祝樹

中村美奈身

京都造形芸術大学美術工芸学科染織コース卒
(現・京都芸術大学)

花々が降りそそぐように咲き乱れ、
祝祭の熱を帯びた藤が空間を満たしていく。
咲き誇る藤を主題に、溢れつづける色彩と
生命のうねりを描いた作品です。

キャンバス、アクリル絵具

910×727mm



NO.15

香る雨粒

平石はるな

京都市立芸術大学美術学科美術学部油画専攻卒

藤棚の下には流れるような花が、甘い香りで空間を潤すかのように垂れ下がっていた。

キャンバス、油彩

803×606mm



NO.16

鏡窓

間々田 佳

武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程
美術専攻彫刻コース修了

「間」という制作テーマをもとに
垂直に垂れ下がる白藤を、時間と空間を
鮮やかに分つ境界の装置として表現した。

和紙、胡粉、金彩、木製パネル

530 × 530 × 40 mm

NO.17

Link

森瑞希

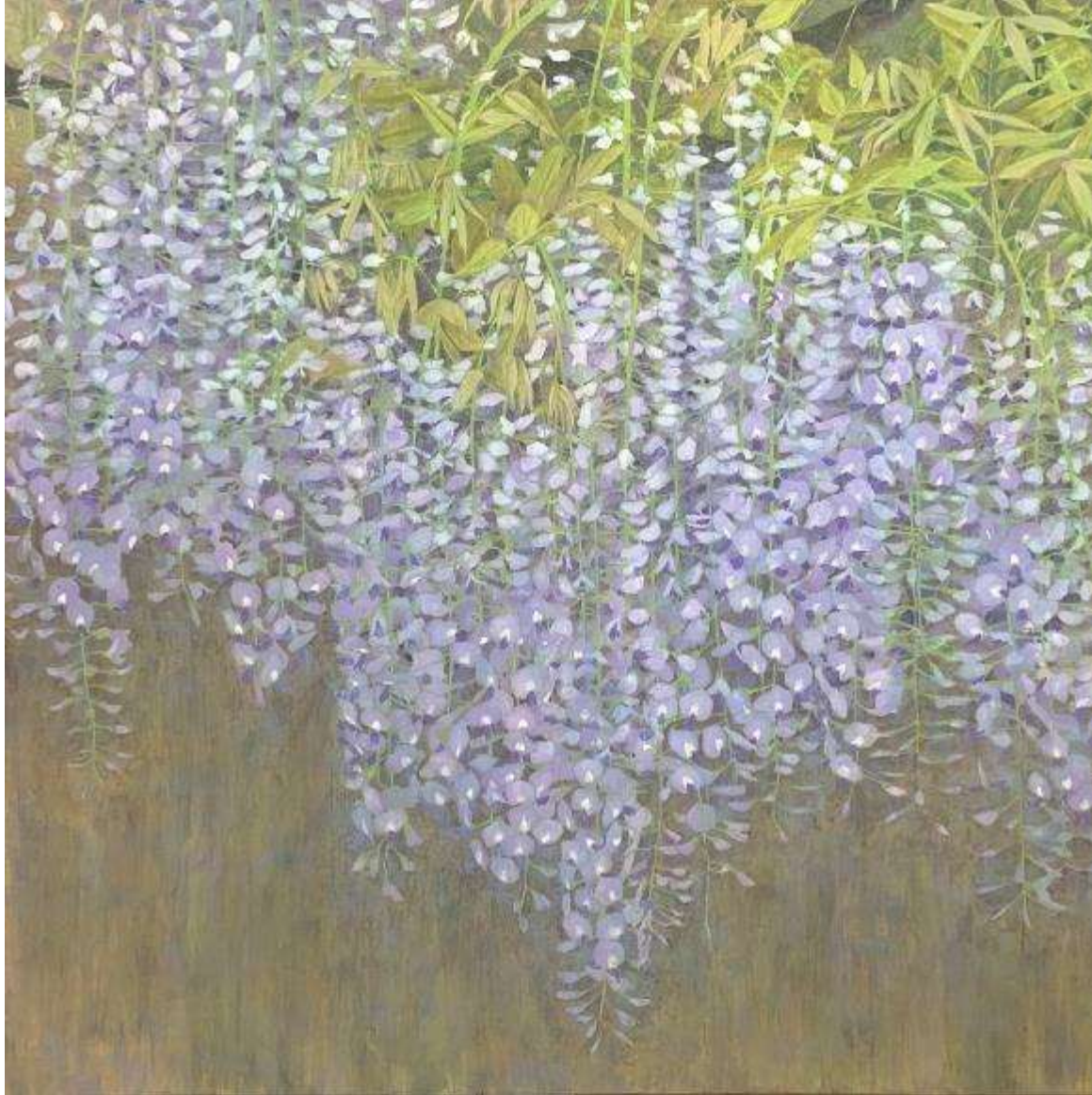
京都芸術大学美術工芸学科油画コース

紫色に空を染める。雨上がり、濡れた草花が私を包む。ひとつの大きな命から、四方八方へと手を伸ばす。支え合って、共存する。

キャンバス、油彩

910×606mm





NO.18

群咲

山中翔

東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻卒

あしかがフラワーパークの藤を取材して制作しました。根本から先にかけて少しずつ咲き頃が移ろう房に、藤の花ならではの美を感じました。

紙本彩色

1000×1000mm



NO.19

蠢動含霊 (しゅんどうがんれい)

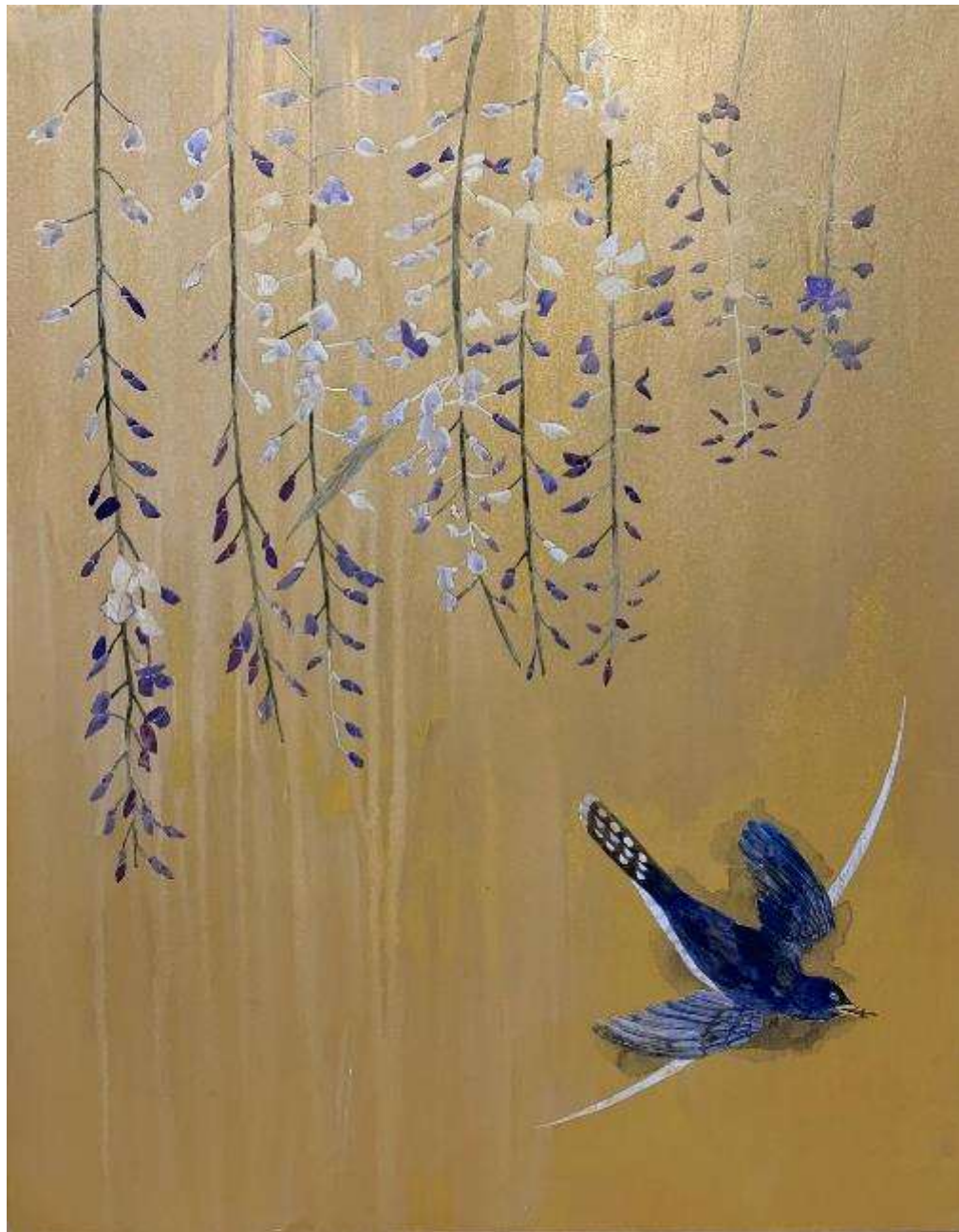
山本晃太

京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻

藤の木や花弁を目の当たりにして、何千、何万の生き物が集まって構成されたような美とエネルギーと感じてこの作品を描きました。そこから、霊性を持つ草木や昆虫など、生きとし生けるもの全てを指す四字熟語をタイトルにしました。

キャンバス、アクリル

652×530mm



NO.20

藤にほととぎす

湯浅泰将

筑波大学大学院

芸術学学位プログラム日本画領域終了

花札から発想し、藤の花とほととぎすを構成して描きました。

高知麻紙、水干絵具、岩絵具

910×727mm

NO.21

HAPPY藤の精霊

ハッピーモンスター横岑竜之
大阪芸術大学美術学科抽象ゼミ卒

あしかがフラワーパークの藤の花を見た時、花を頭に付けて「藤の精霊」なんて、ありきたりだけど、それが楽しくて、青春を感じて、シンプルで良いなと思いました。
人間を元気に!ハッピーに!お部屋に飾った時に部屋全体が明るくなる!そんな絵を目指して、ハッピーモンスターを描いています。
今回は、自分をモデルにして、藤の花を飾って、「ハッピー藤の精霊」を作りました。
ぜひこの絵からエネルギーをもらって、元気にハッピーになって下さい。

アクリルシリコン絵具、銀紙、ラメジェル
910×910mm

